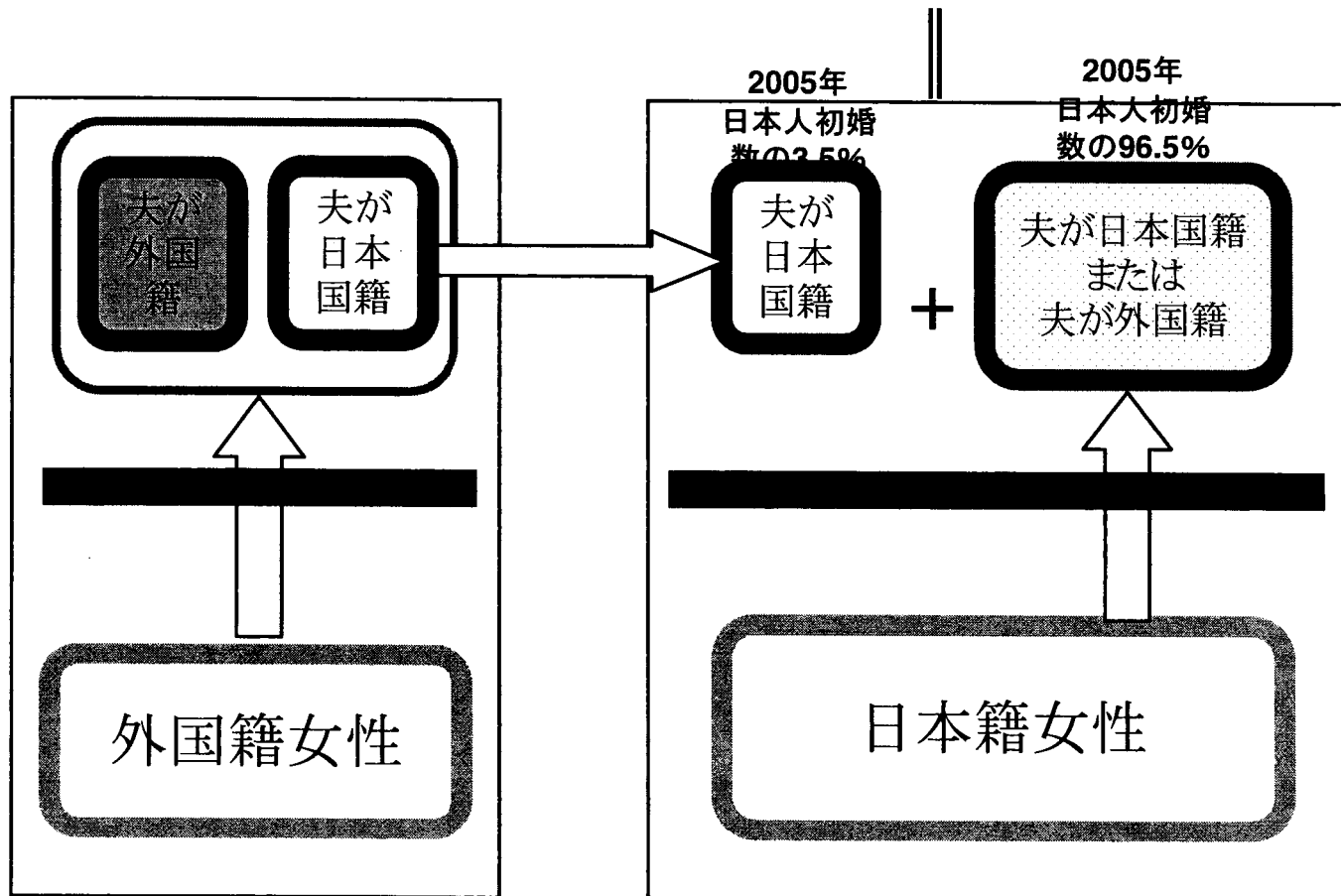
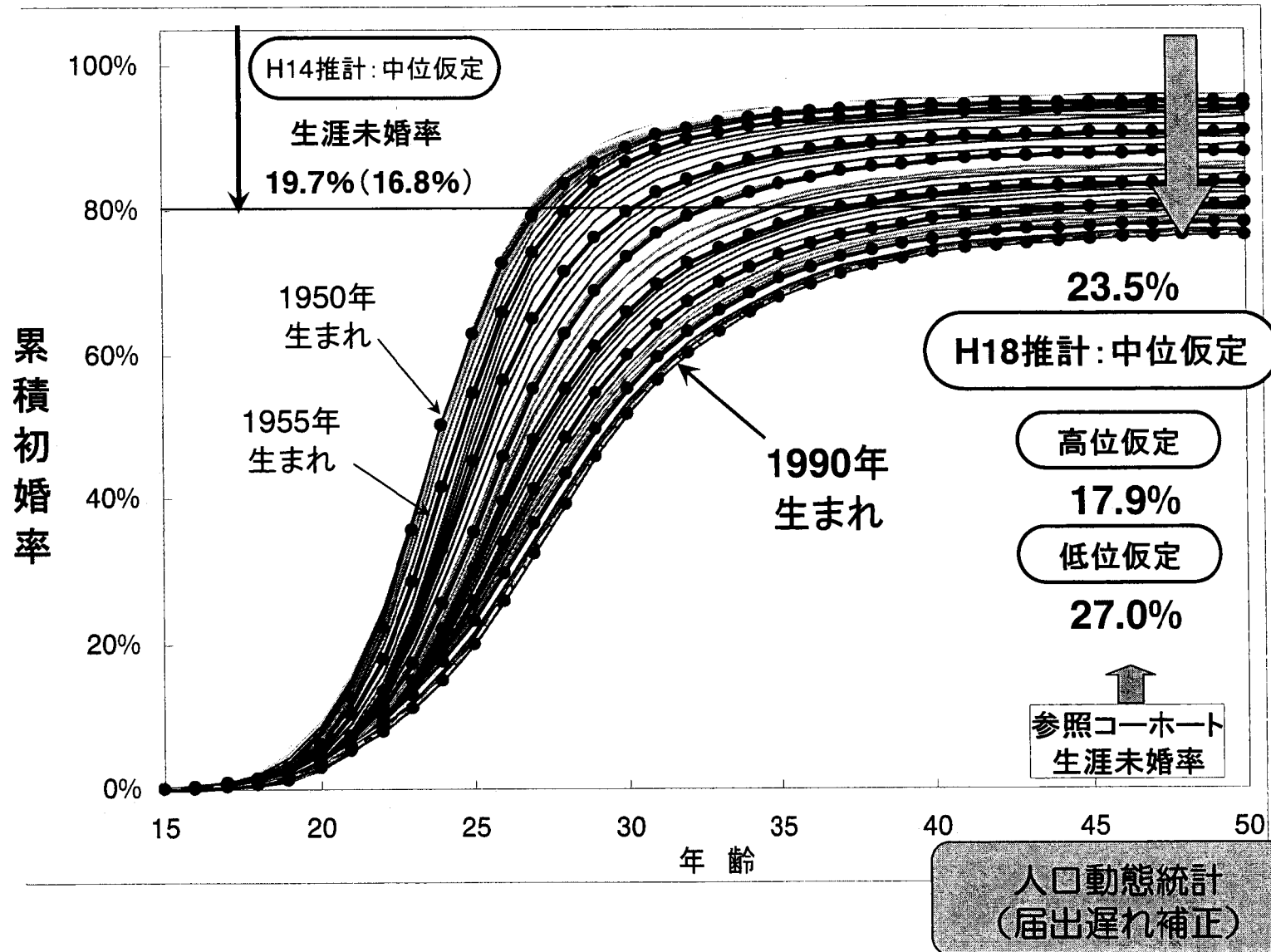


初婚率の定義

人口動態統計定義の初婚率

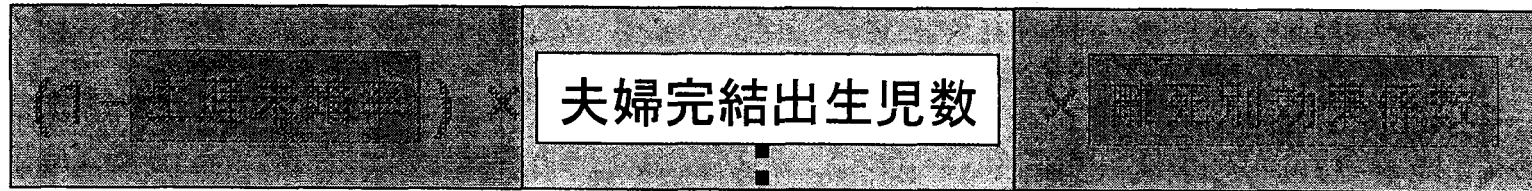


コーホート累積初婚率の投影と参照コーホート生涯未婚率



参照コーホートの夫婦出生力仮定の設定

コーホート合計特殊出生率



期待夫婦完結出生児数

結婚出生力変動係数

×

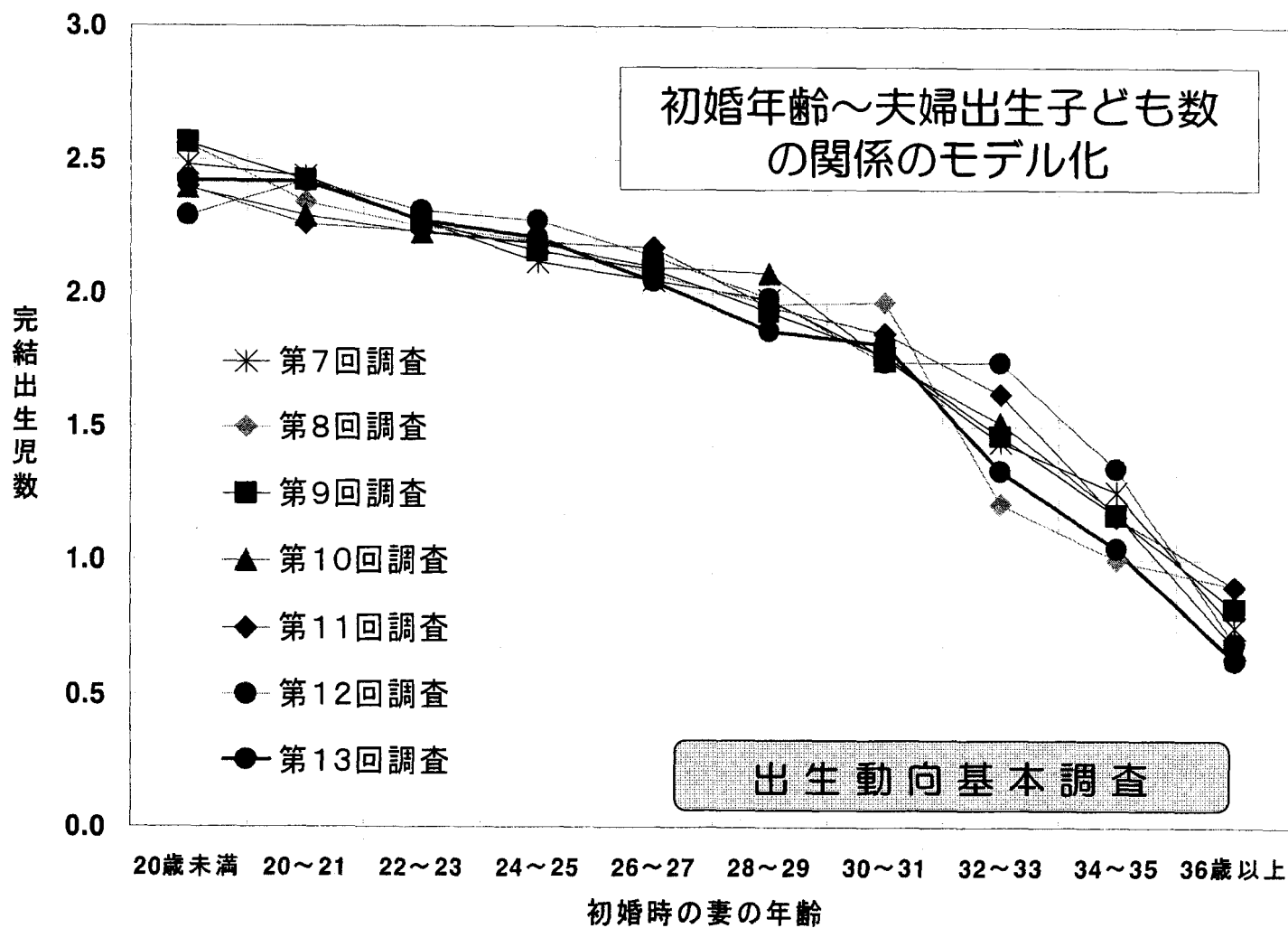
平成14年推計

出生動向基本調査による初婚年齢と夫婦完結出生子ども数の関係から求めた(中位仮定 1.89人)。

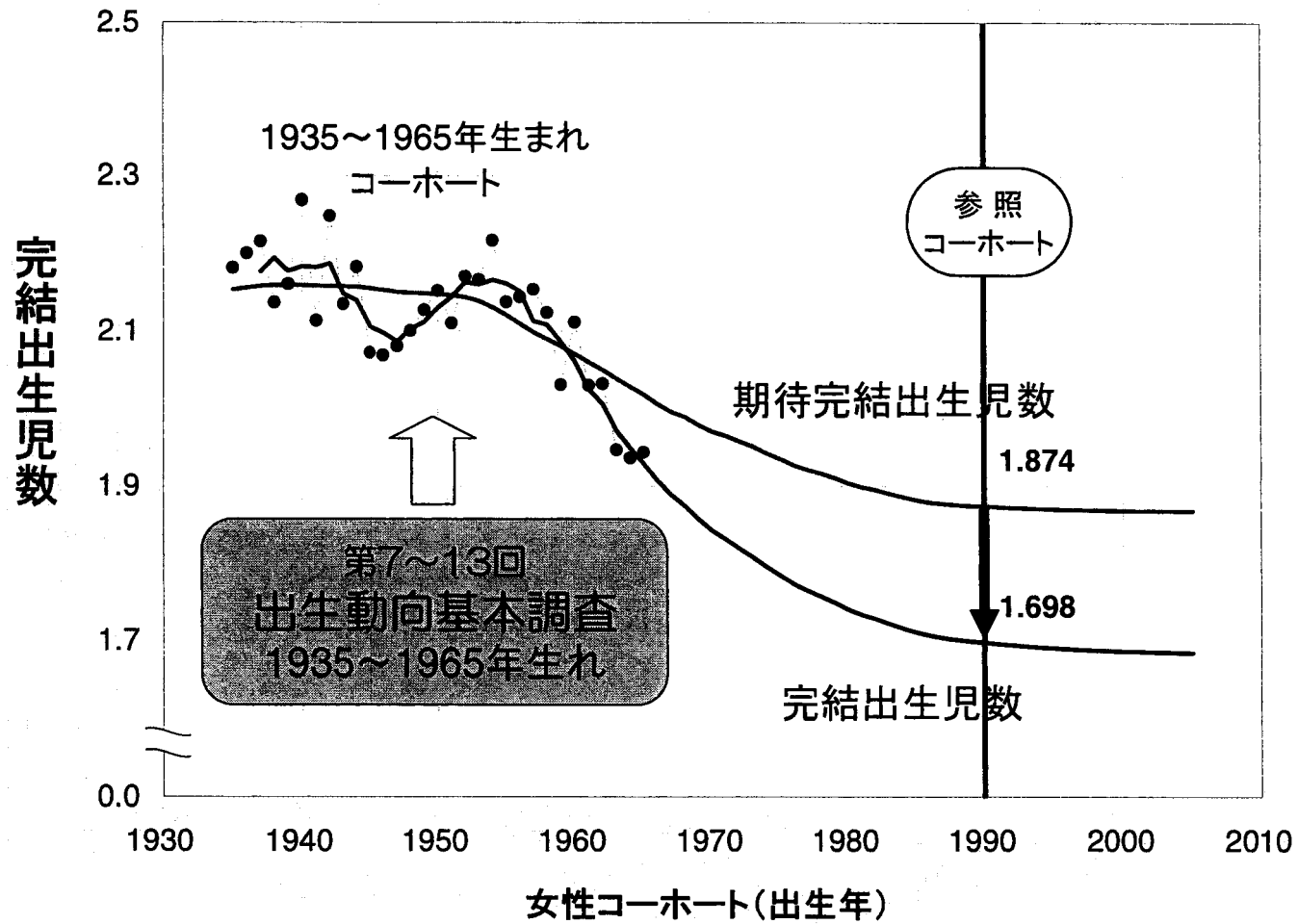
平成18年推計

第12・13回調査結果の追加による精密化

初婚年齢～夫婦出生子ども数

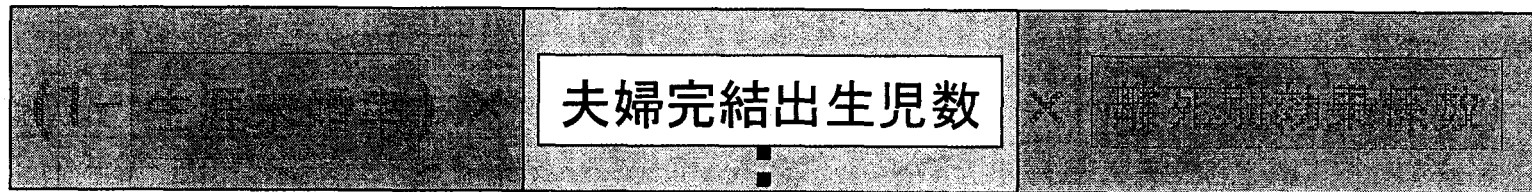


期待夫婦完結出生児数と夫婦完結出生児数



参照コーホートの夫婦出生力仮定の設定

コーホート合計特殊出生率



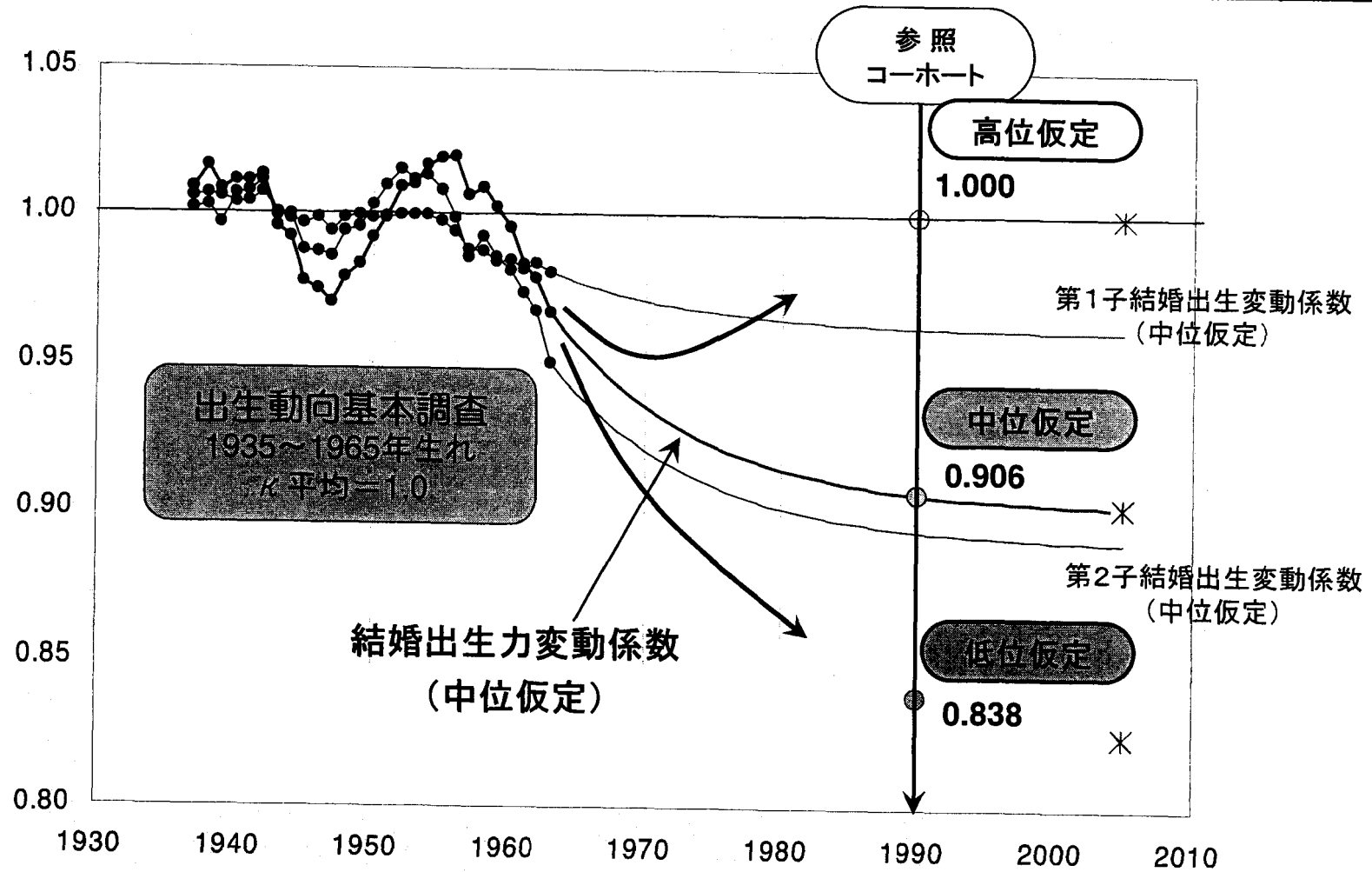
平成18年推計

平成14年推計

離死別効果係数との
効果の分離を精密化

近年の年次別出生率の推移と時系列モデル(ARIMA)を用いた36ヶ月分の予測値を最もよく再現する値を中位の仮定として設定した(0.911)。

結婚出生力変動係数の推移



参照コーホートの離死別効果仮定の設定

コーホート合計特殊出生率

$$(1 - \text{全世未婚率}) \times \text{夫婦完結出生児数} \times \text{離死別効果係数}$$

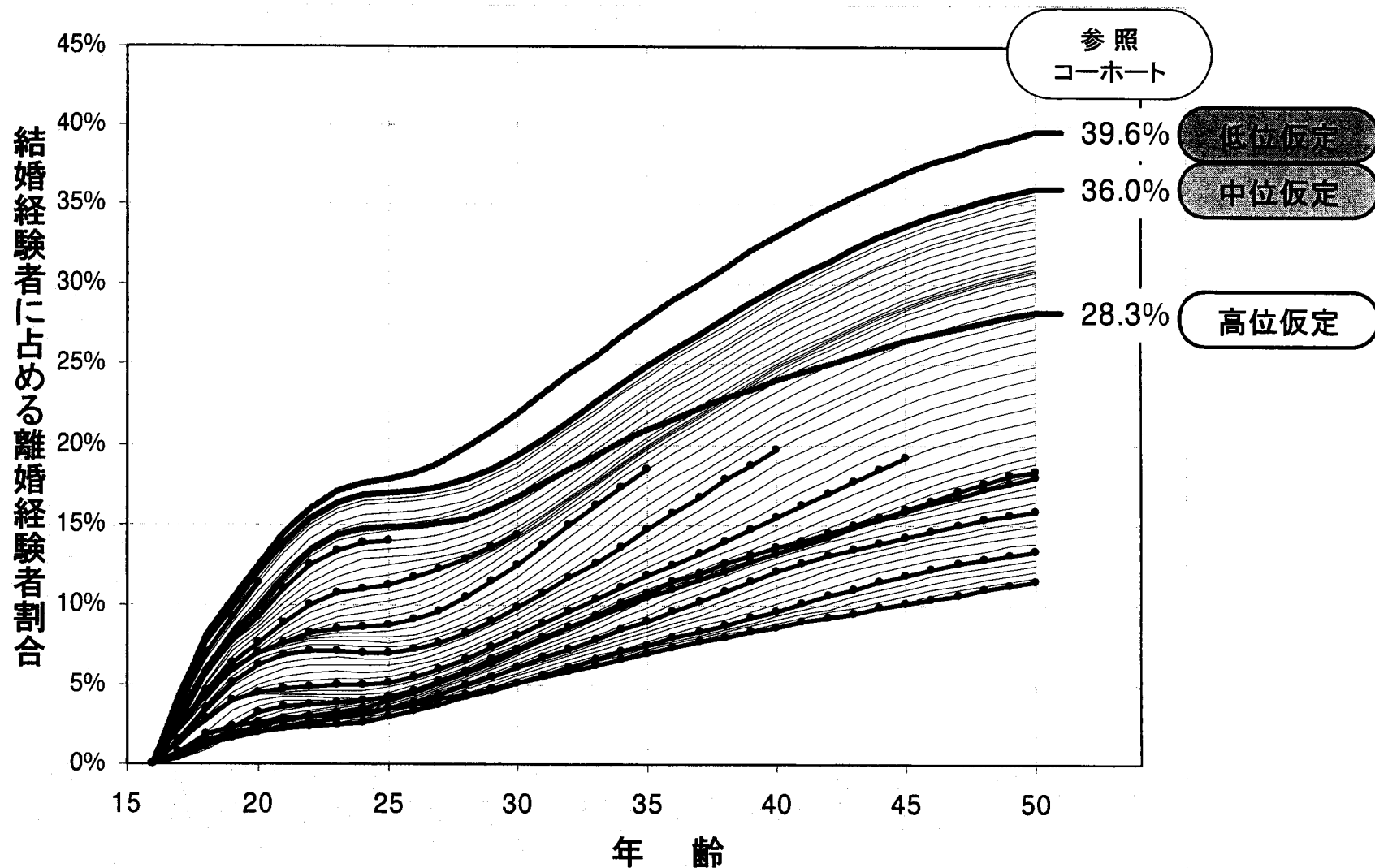
平成18年推計

平成14年推計

離婚・再婚の動向を反映し、若い世代における離婚増加の傾向を新たに織り込む

出生動向基本調査と人口動態統計から得られる過去の実績値の比率を固定(中・高・低位共通 0.971)。

コーホート別にみた各年齢時離婚経験者割合 (将来値は投影による)



離死別再婚効果仮定の設定

配偶関係の分類 (数値は1955年生まれコーホートの値)

配偶関係の種類(女性50歳時点)		女性 構成比	平均 子ども数	初婚どうし 出生との比		
独 身	未 婚 (n)		γ (5.8%)	C_n ($\cong 0.00$)		
	離死別経験者	離 別 (d)	P_d (1.8%)	C_{dw} (1.58)		
		死 別 (w)	P_w (2.7%)	R_{dw} (0.76)		
有 配 偶	既 婚	妻 再 婚	離別後	$Pr.d$ (5.5%)	C_r (1.86)	R_r (0.90)
			死別後	$Pr.w$ (0.2%)		
		妻初婚×夫再婚 (fr)	P_{fr} (5.1%)	C_{fr} (1.90)	R_{fr} (0.92)	
	初婚どうし (ff)	P_{ff} (68.9%)	C_{ff} (2.07)	R_{ff} (1.00)		

γ : 生涯未婚率

$R_{dw} = C_{dw}/C_{ff}$ など

離死別再婚効果係数(δ)の構造 \longrightarrow

$$\delta = \frac{1}{1-\gamma} \{ P_{ff} + P_{fr} R_{fr} + P_r R_r + P_{dw} R_{dw} \}$$

離婚・再婚の動向を反映

実績 (1955年生まれ) $\delta \cong 0.952$	参照 コーホート <u>0.925</u>
--	-----------------------------